平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ロボットプロジェクト入門2 (Introduction to Robot Project 2)			**授業コード**	P180251
担当教員名	藤田　浩輝、福島　学、稲川　直裕、市田 秀樹、松永　多苗子、有吉　雄哉			**科目ナンバリングコード**	P11802
配当学年	1	**開講期**	後期		
必修・選択区分	選択	**単位数**	2		
履修上の注意または履修条件	通常の授業時間以外に地域での活動日(土曜日(終日))が設定されています。 日程の確認をお願いいたします。日程については、ガイダンス時に通知いたします。				
受講心得	本授業は、グループワークが中心の課題発見・解決型の授業です。グループの全員がの活動目標(最終目標)に向かって主体的に取り組む事が期待されます。 本主業において活動する地域の皆さんには、この授業進行にあたって、多大なご協力を頂いております。皆さんのために、ご協力してくださる地域の皆さんの期待に応えるような心構えで、受講してください。				
教科書	授業の内容に関する資料は、各授業時間毎に配布、もしくは、メーリングリストを通して配布・連絡します。				
参考文献及び指定図書					
関連科目	ロボットプロジェクト入門1				

授業の目的	これからの社会は、様々な問題が複雑にからみあい、予測困難な時代となっていきます。そのような社会の中で何が必要とされているか、それに対してどのような取り組みを行っていけば良いのか、ということを主体的に考えて行く必要があります。 本授業では、地域の実態を現場見学や体験学習・ワークショップを通して感じ、地域が直面している課題について考えます。 そして、その課題に対して、ものづくりを通して「何ができるのか」ということを、本授業を通して考え抜きます。
授業の概要	地域の現状についての話を聞き、地域での体験学習を通して感じたことをまとめ、今後の地域社会における課題についてグループディスカッションを行います。 また、グループディスカッションをとおして見つけた課題にたいして、それを解決するためのアイデアを考え、プロトタイピング(試作)を通してカタチにします。 本授業はグループワークが基本となります。グループ活動の中では、自分の役割を考え、また周囲をサポートすることで、チームの目標に向かって主体的に活動する事が期待されます。 課題内容としては、プロトタイプ(動作するもの)、プレゼン資料、製作物のプロモーションビデオなどを作製します。 基本的に授業計画に基づいて、授業の進行を行いますが、進捗や活動状況によって、前後、内容の変更を行うことがあります。 また、地域での活動に就いては、本来の授業曜日以外に土曜日等を含みます。ご注意下さい。 授業に関する連絡はメーリングリストを通して連絡します(登録等については、授業開始時に説明します)。

〇授業計画	
学修内容	**学修課題(予習・復習)**
第 1 週 ： ガイダンス 授業の内容・目標とスケジュール、プロジェクトを通しての全体活動内容について説明します。	課題提示
第 2 週 ： チーム作り チーム分け、アイスブレークを通して、チーム作りを行います。次次週以降の地域での活動スケジュールについての詳細を説明します。	
第 3 週 ： 課題発見プロセスについて プロジェクト系科目で一番重要な課題発見のプロセスについて考えます。この授業を通して、チームで「何を作るのか？」「何を作れば良いのか？」について考えます。	チームポートフォリオ作成

第 4 週 ： 地域の声を聴く・見る（日程に注意して下さい。土曜日の終日を予定しています。日程はガイダンス時に連絡します。） 活動地域において、地域の方にその地域の状況についてお話を伺います（前半）。 実際に地域を見て回り（まち歩き）、地域の現状について理解を深め、地域の魅力の再発見につながるワークショップを実施いたします。	チームポートフォリオ作成
第 5 週 ： フィールドワーク（日程に注意して下さい。日程に注意して下さい。土曜日の終日を予定しています。日程はガイダンス時に連絡します。） 前週に引き続き、地域での活動を実施し、最終課題に対する課題発見につなげます。	チームポートフォリオ作成
第 6 週 ： アイデア創出(1) 第5週までにおいて体験・経験した地域の状況や発見した課題について、課題解決に向けたアイデアを考えていきます。 （情報共有、アイデア出し、アイデア決定、チーム課題共有）	ポートフォリオ作成
第 7 週 ： アイデア創出(2) 第6週の内容を引き続き実施します。 （ストーリーボード作成、アイデアスケッチ）	ポートフォリオ作成
第 8 週 ： アイデア創出(3) 第7週の内容を引き続き実施し、チーム最終目標（製作課題）を決定します。 （タスク決定、役割分担、スケジュール作成）	ポートフォリオ作成
第 9 週 ： プロトタイピング(1) 第8週で作成したスケジュールをもとに、チーム作業に取りかかる。製作にあたり必要な知識を修得していきます。	ポートフォリオ作成
第10週 ： プロトタイピング(2) 前週に引き続き、チーム作業に取りかかる。製作にあたり必要な知識を修得していきます。 次週までのチーム活動を計画します。	ポートフォリオ作成
第11週 ： プロトタイピング(3) 前週に引き続き、チーム作業に取りかかる。製作にあたり必要な知識を修得していきます。 次週までのチーム活動を計画します。	ポートフォリオ作成
第12週 ： プロトタイピング(4) 前週に引き続き、チーム作業に取りかかり、プロトタイピングの作業を終える。	ポートフォリオ作成
第13週 ： 動作検証/プレゼン作成 制作物の動作検証と報告会にむけてのプレゼンテーションを作成し、発表練習を行う。	ポートフォリオ作成
第14週 ： 成果報告会：地域での発表（日程に注意して下さい。土曜日の終日を予定しています。日程はガイダンス時に連絡します。） 各チームのアイデアとそのプロトタイプなど、課題内容に応じた報告を各チーム毎に行う。	ポートフォリオ作成
第15週 ： 振り返り プロジェクトをおとして、学んだことについての振り返りをすることで、次学年以降の活動につなげる。	プロジェクト振り返りシート作成
第16週 ： 予備日	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅰ：ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目	
備考		

〇単位を修得するために達成すべき到達目標

【関心・意欲・態度】	自ら積極的に情報収集等を行い、チームの活動に主体的に参加することが出来る。
【知識・理解】	チームの目標達成のために自ら情報収集等を行い、その知識等を他のメンバーが理解出来るように説明することが出来る
【技能・表現・コミュニケーション】	自ら調べたことを仲間と共有し，目的にむけた行動を取ることができる。チームの活動を活発にするための行動を取ることができる。
【思考・判断・創造】	目的に応じた情報の収集・発見を行い，創造性を発揮しながら、チーム活動がよりよい方向に向かわすことが出来る。

〇成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		**15点**	**30点**	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		**10点**		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		**20点**		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		**25点**		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	**最終成果発表会の内容評価、チームポートフォリオ（期間中のチーム活動内容）、自己活動評価シートにもとづき総合的に成績評価を行います。**
レポート・作品等（提出物）	ポートフォリオ、プレゼン資料など、提出資料にもとづいて、総合的に評価します.
発表・その他（無形成果）	実習の目的と内容をよく理解して，他のメンバーと協力し、プロジェクト全体を通して意欲的に取り組んだかを評価します.